

中山 11 発走 15:45

第49回ダービー卿CT(III) 4歳以上・オープン(馬齢限定・ハンデ)

芝1600 1.30.7 レオアクティブ 54 横山典 24年9月9日

今回事業タイム 良 1.33秒台 重 1.35秒台

成順の見方 ①東芝(5.29) ②ヒューズ(1.4) ③西野(2.240) ④502馬(5.0) ⑤57川田(18.3) ⑥818馬(8.37) ⑦中山伸(33.3) ⑧サトウダ(5)

馬場状態 芝 3900 ① 1600 ② 980 ③ 590 ④ 590 ⑤ 590

Main table containing race results, horse names, jockeys, and various statistics for the Derby Queen CT race.

芝チャリスだが、大馬の2 戦目。芝積みで巻き返したガリバルディ。初の中山が健でも末の爆発力はメンバー随一。 ⑥穴候補も多数 ⑦クラティンチは2年前のクマリだが、とにかくムラ。 ⑧サライズメジャーも近走の安定感は一歩。⑨着と中山の千六のフィーリングは中々。 ⑩同様に中山ではジュニアAC・NZTと2戦2勝のダンツッパ。得意舞台なら一変も。 ⑪重賞6勝クラウンアデラ。過去の実績を買えば、ロイヤルカバードはたればセールで高額取り引き、良血に期待感。

本紙の見解

成長確かなキャンベル

キャンベルジュニアは、昨年同様準オープンで優勝してのステップ。その昨年は人気を裏切ったが、道中は若さを出しながらの逃げ。勝ち馬から0秒5差なら、通用のメドは立った。一年経ち、折り合いは確実に成長。前走比2キロ減55キロのハンドも有利と判断し、中心に期待。中山千六の実績十分グランシルクが相手。【乱れ含み】

馬単 5⇒8 5⇒3 5⇒7 5⇒3 5⇒11 5⇒10 5⇒12

3連単 1着 5 2着 378 3着 378 101112 101112 (30点)

グリーンチャンネル解説者 黒津 紳一 俊原 正行... 昨秋からマイル路線に転じて、ここまで4戦2度のロイヤルカバード。2度の出走も折り合いは悪くない。折り合いは悪くない。折り合いは悪くない。

中山 11R TMイチ推し 3ロジチャリス

11R シェルビー 栗坂 助手 53.9 39.5 13.1 一杯追込 8栗坂助手 550 408 135馬なり 15栗坂助手 526 390 132馬なり 23栗坂助手 526 388 127叩一杯 29栗坂助手 536 391 125強めに併 (3歳未勝利エアーゼー馬なりを追い併入) 【伸び切れず、不満の残る動き。本調子には迫らない。】

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63 64 65 66 67 68 69 70 71 72 73 74 75 76 77 78 79 80 81 82 83 84 85 86 87 88 89 90 91 92 93 94 95 96 97 98 99 100

柏木の単複

成績に差はないが、グランシルクは距離がマイル前中山の方がはるかに合う。前回はマイル前アウトライトに完敗だが、55で波馬場なら逆転できる。穴はシェルビー。

3連複 358 578 5811 5810 35711 351011 35711 5710

過去の実績 16 4 15 7 14 ハンデ有利 8 6 9 1 4 最近の成績 11 8 10 3 7 3 8 11 7 15

2 クラティオ南W稍

70.9 54.4 39.3 13.1 強直め 15南BW重助 手 58.2 42.4 13.4 9馬なり併 18南BW稍助 手 69.7 54.9 40.5 13.3 9強めに併 23南BW稍助 手 6F83.2 68.0 53.4 39.3 13.3 5強直め 29南BW稍助 手 67.2 52.2 38.5 12.9 6強めに先 (古500エングランティエ強めの内を走り併入)

3 ロジチャリス南W稍

65.7 50.3 36.5 12.5 一杯追併 26南BW稍助 手 71.4 55.8 41.0 14.2 7馬なり 29南BW稍助 手 70.4 55.0 40.4 12.6 7馬なり併 (古500マツリダバハ馬なりの内を走り併入)

4 ショウナン南W稍

66.4 51.1 36.8 12.8 3馬なり先 1美坂助手 559 412 136馬なり 8美坂助手 575 428 137馬なり 12美坂助手 540 391 133馬なり 16美坂助手 533 390 119馬なり 23美坂助手 561 412 137馬なり 29美坂助手 530 385 120馬なり先 (3歳未勝利ナカヤマグラン杯を走り併入)

5 キャンベル南W重

69.2 54.1 39.3 12.6 6馬なり先 30美坂助手 564 416 127馬なり 【中1週を考慮、内めをサッと流す。好気合、好調。】

6 スモトーンパーク 美坂 助手 51.8 37.8 12.5 一杯追併

23美坂助手 555 403 123馬なり 29美坂助手 519 373 125一杯追併 【グングン加速して動きに躍動感。9歳も衰え皆無。】

7 ガリバルディ 栗坂 池添 52.0 37.8 12.4 一杯追

23栗坂助手 538 391 125未強め 29栗坂池添 524 380 121馬なり 【回転が速く、ラストも余力十分。気配は前走以上。】

8 グランシルク南W稍

67.4 51.9 38.0 12.9 5馬なり 16南BW重助 手 6F81.7 66.3 52.1 38.6 12.7 4馬なり 20南BW稍助 手 53.9 38.9 13.0 5馬なり 23南BW稍助 手 66.2 52.1 38.7 12.9 8強めに先 26南BW稍助 手 53.1 38.5 12.5 8一杯追 29南BW稍助 手 66.6 51.1 37.5 12.7 5馬なり 【単走も集中力あり、パワフルな蹴り脚。状態万全。】

9 シベリアンスパブ 美坂 助手 53.9 39.0 12.7 馬なり併

23美坂石裕 524 381 122馬なり先 26南BW稍助 手 56.7 41.0 13.5 7馬なり併 29美坂助手 528 384 124馬なり併 (3歳未勝利ライバーバード強めに先行併入) 【派手はないが時計以上のスピード感。良化確実。】

10 タイワリベラル 美坂 調師 52.8 38.6 12.3 馬なり併

24南BW稍助 手 69.4 54.0 39.8 13.5 7馬なり併 29美坂調師 530 389 126馬なり併 (古1000トセンミッション馬なりに先行併入) 【太く鋭い脚でも張り十分。力強い脚どりで好調。】

11 マイネリア南W稍

69.8 54.2 39.7 12.9 4馬なり 17南BW稍助 手 71.4 56.5 41.7 14.0 4馬なり 24南BW稍助 手 68.8 53.1 38.4 13.5 5馬なり併 29南BW稍助 手 69.3 54.7 39.6 12.7 5馬なり先 (3歳未勝利エスピエール杯の外を走り1騎半先着) 【余力十分で鋭い脚さばき。充実期入り、絶対好調。】

12 ロイカバード 栗坂 助手 52.9 38.9 12.8 一杯追併

15栗坂助手 543 398 135馬なり 19栗坂助手 569 411 140馬なり 23栗坂助手 521 385 128一杯追 29栗坂助手 535 393 124一杯追先 (障害未勝利グレイジェント叩一杯を走り2騎半先着) 【クビを上げて確かな伸び。本数のわりに仕上がる。】

13 ショウナンパハ 美坂 助手 52.9 38.2 12.4 強めに

15美坂助手 531 383 123前強 22美坂助手 543 386 118馬なり 29美坂助手 543 390 118一杯追 【外に張りきみてはいるが、追っての反応は鋭い。】

14 サンライズメジャー 栗坂 助手 55.4 40.2 12.6 馬なり

9栗坂助手 601 443 147馬なり 15栗坂助手 550 404 129馬なり 23栗坂助手 549 400 123一杯追 29栗坂助手 566 410 123馬なり 【いたって軽め。強い稽古が少なく、息も不調に不安。】

15 ダンツプリウス 栗坂 助手 53.1 37.5 12.5 一杯追先

15栗坂助手 547 401 129強めに連 23栗坂助手 537 388 124叩一杯先 26栗坂助手 583 407 126馬なり 29栗坂助手 517 374 125一杯追先 (障害未勝利トウシンイゴール杯に先行3騎半先着) 【頭は高いが上々の伸び。近走不満も不安ないデキ。】

16 クラレント 栗坂 岩田 51.9 38.2 13.2 馬なり先

5栗坂助手 571 418 137馬なり 8栗坂助手 531 392 127馬なり 12栗坂助手 546 401 131馬なり 15栗坂助手 534 385 125一杯追併 20栗坂助手 545 399 127馬なり 23栗坂岩田 526 382 124強めに連 26栗坂助手 543 398 126馬なり 29栗坂岩田 520 378 123前強 【坂路を入念。馬体は仕上がったが、好調時の迫力?】

17 ガリバルディ 田代 助手 前走は上がり32秒

8でも届かない展開だった。勝ち馬とはコース取りの差もあつた。この距離で結果が出ていない。坂のある中山も問題はないので、少し流れが速くなれば、⑧グランシルク 【圈内】

18 戸田師 前走は取りこぼして

しまった通り。ハンデは恵まれたが、重賞のペースの方がしんどい。重賞のペースの方がしんどい。重賞のペースの方がしんどい。

19 菊沢師 前走はマイペースで

行けて展開も向いたが、プリンカー・シャドールは状態は変わらず集中していた。状態は変わらず集中していた。状態は変わらず集中していた。

20 松永幹師 前走はスローになり

つつが、32秒の脚を使っていたが、折り合い面も大丈夫とジョッキーも言ってくれた。小回りの中山で、さばけるかどうか。

21 山内師 前走はスローで外を

回らされたし、この馬には一番嫌な展開。放牧明けを使った上積みも見込めないか。実績のある中山で見直せないか。 【叩いて】

22 橋口慎師 やることに上向き

で、今までの単走追い切りでは一番と言える動き。1回さえばもっと良くなるが、久々としてはいい状態で臨めそう。

15 ダンツプリウス

中山芝1600m ジョッキーベスト10 1戸田 333.275 2横山 269.269 3北村 194.179 4柴田 178.157 5中野 157.139 6内田 136.136 7内田 136.136 8内田 136.136 9内田 136.136 10内田 136.136 2012-2016年 50騎乗以上

各予想者の「◎」印に注目

予想欄の◎印は、各スタッフが一週目頭選したもので、「その日一番良かった馬」を示しています。

先週が雨中の競馬。Bコース

変わり目とはいえ、外差しも馬場か。スローで前残り注意だが、決め手ある待機勢は五角

ハイペース

ハイペース

11R馬番連複 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63 64 65 66 67 68 69 70 71 72 73 74 75 76 77 78 79 80 81 82 83 84 85 86 87 88 89 90 91 92 93 94 95 96 97 98 99 100

ダービー脚CT 過去5回の成績 24中山 25中山 26中山 27中山 28中山 29中山 30中山 31中山 32中山 33中山 34中山 35中山 36中山 37中山 38中山 39中山 40中山 41中山 42中山 43中山 44中山 45中山 46中山 47中山 48中山 49中山 50中山

スタッフ予想 脚質 能力指数 全成績 成当ラ 績ス該 連対時 最高体重 最低体重

競馬人情 吉川良

仕事部屋からけっこう広い池が見えて、そのあちこちに水仙の花が咲いているんだ。こんなに寒いのに、よくもさ。咲いているなあと、冬のあいだの、私の尊敬に値する友だちのようなものだ。

春めいてきて、まだ咲いている水仙を見ながら、今年の関東地方の三月下旬は冷えこむ日が多く、桜が咲くに咲けないという感じ。

じいさんになって、ときどき思うのだが、人生ってのは、金苦労とか、ま、いろいろな苦勞があるけれども、春夏秋冬、季節感というのといっしょに暮らしているんだあと、木とか

馬券がアタったのハズれたの、それは、おれの場合は二の次。アテようと思ってハズれてるだけさね

とひとり酒をのんだり、コーヒをのんだりしながら、ためえと話をしている春だよ。

ダービー脚CT。前走の大坂城Sでの追走が目に残るガリパルディからキャンベルグラン、アウラートへの馬単3点。



編集長の馬

秋の天皇賞2000mにも良く似た傾向があるが、古馬のトップクラスが2000mで対戦すると、時計が速くなるほど大接戦になる。

大坂杯のレコードは11年、ヒルノダムールが天皇賞(春)制覇直前に勝った際の1分57秒8。

①着から⑥着馬まで「ハゲレケレ」差だった。

コースレコードは昨16年の鳴尾記念の1分57秒6。勝ったサトノノブレスから上位は「ケレレ」差で続き、⑥着ヤマカツエースが1分58秒0である。

東京の天皇賞(秋)のレコードは、11年トーセンジョーダンの1分56秒1。上位は「ケレレ」差の接戦であり、その前のレコードはウオッカの1分57秒2。

ダイワスカレット以下が「ハゲレケレ」差でなれだれ込みでチャンピオンも伏兵もほとんど差はないのである。

GIになった大坂杯は、ドバ

花とか眺めるわけ。

「おれなんか運がいいのか悪いのか、競馬って奴が好きになっちゃって、それを人生の道づれにしてるわけだけど、今年で言えばね、GIになった大坂杯から、桜花賞、皐月賞、天皇賞、NHKマイル、皐月賞、トリアマ、オークス、ダービー、安田記念と、競馬で春と抱きあっていくのよ。

イに遠征馬のいる直後だが、昨年の年度代表馬キタサンブラック、日本ダービー馬マカヒキ、香港ヴァーズGIを勝ったサトノクラウンなど、好メンバーの対決が実現した。

妙なスローはない。マルターズアポジーは前走の1800mを、前半57秒6で飛ばして独走に近い圧勝だった。武士沢騎手が果敢に前半を58秒で飛ばすと仮定すると、日曜は回復しそうなので時計は速くなる。

みんな57秒の定量なので、順当な結果かもしれないが、「時計の速い2000mのパターン通り」の大接戦がある。

人気のキタサンブラックは3番手くらいから、内回りなので早めにスパットする公算大。キタサンブラックは長丁場のGIに2勝しているも、本当は2000mこそベストの可能性大だが、スパット切れるタイプではない(持ち時計7位)。

キタサンブラックを目標に伸びる馬が何頭もいる。天皇賞や宝塚記念、安田記念より負担重量は軽い57。大接戦のG寸前、逆転がありえる。

(柏木)

我が家の前には桜の木があるのですが、まだ蕾の状態。競馬は春のGIシリーズですが、気候はまだ春っぽくありません。

まずは⑤Rからコンフィデンス。初戦はまだ重そうな体つきでしたが、速い上がりにも対応して2着確保。スタミナを生かせる中山コースは大歓迎、素質の違いを見せつけます。

⑧Rはイントゥザターフ。前走は千通過64秒3と、未勝利戦なみのスロー。直線だけの競馬で4着。メンバリー弱体化、末脚の遅いで飲み込みます。

⑨Rはチャロネグロ。3戦目で重賞挑戦、自身がササるシーンもありましたが、進路を被されて追い直す不利も、着順ほど完敗の内容ではなく、自己条件でアッサリ巻き返します。

☆関東所属ジョッキー特別

①	着	12	10	5	4	4	3	3	2	2
②	着	7	16	2	2	1	1	3	2	9
③	着	8	7	3	3	2	1	2	7	3
④	着	3	3	3	2	2	2	3	3	3
⑤	着	2	2	2	1	1	1	3	2	9
⑥	着	1	1	1	1	1	1	3	2	9
⑦	着	1	1	1	1	1	1	3	2	9
⑧	着	1	1	1	1	1	1	3	2	9
⑨	着	1	1	1	1	1	1	3	2	9
⑩	着	1	1	1	1	1	1	3	2	9

名 辺崎岡博 橋田宏 幸大 典
騎 田戸松内石丸北吉柴柴横
順位 ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩



小本曾大祐

初勝利を単勝で祝う

JRAの新人ジョッキーは5人合わせてまだ1勝。非常に厳しい出たのだが、今日の富田騎手(阪神12R)は初勝利のチャンスではないか。

騎乗馬カフジナイサーの前走はコクスイセンIIカフジナイサーの「行った」行った」だが、1000m通過60秒5から上が50秒5、38秒1。まったく先



大川浩史

トップハンドの成績

19年	ダンスインザモア	57
20年	キングストレイル	58
21年	サイレントブライド	58
22年	マイネルレニア	58
23年	ショウワモダン	59
24年	ガルボ	57
25年	リチザクラウン	57
26年	リアルインパクト	58
27年	ダイワフアルコン	58
28年	ロケット	58
29年	クラレント	58

*数字は上から斤量・着順・人気

勝負の一手



郡和之

阪神10R アイスコレクション

何の因果か、前回時に当コラムに取り上げた馬が今日は3頭も出走。その結果がどうだったかというところ。墓穴を掘る展開になるので詳細は省くが、しつこく狙っていたのが同馬。乗り難しさはあるが、2走前の内容からこのクラス通用の能力があるのは確か。馬具を工夫する効果にも期待。

行有利のペースではなかった。コクスイセンは昇級3戦目に1600万勝ち。ハイペースでコクスイセンに付け切った(クビ差負け)カフジナイサーもこのクラスはすぐに勝てるはずだ。問題は骨折明けで過去の休み明けが⑦着であることだが、過去の休み明けの時より調教は動いている。また、クリスタルタイソンやタガノスマイルが逃げて好走した時と比べると、カフジナイサーの前走の方が遙かに厳しいペースであり、今回は楽な先行策が見込める。そうすれば3キロ減がモノを言う。

初勝利を単勝で祝う

JRAの新人ジョッキーは5人合わせてまだ1勝。非常に厳しい出たのだが、今日の富田騎手(阪神12R)は初勝利のチャンスではないか。

騎乗馬カフジナイサーの前走はコクスイセンIIカフジナイサーの「行った」行った」だが、1000m通過60秒5から上が50秒5、38秒1。まったく先